

令和4年度第1回佐賀市立図書館協議会 議事録

開催日時：令和4年8月18日（木）14時30分～15時30分

開催場所：佐賀市立図書館2階 多目的ホール

出席者：【委員：10名】

白根会長、宮原委員、青山委員、市丸委員、中野委員、
本村委員、古賀委員、高原委員、田原委員、堀川委員

【事務局：9名】

百崎教育部長、江口総務企画係長、筒井サービス一係長、
古賀サービス二係長、山田諸富分館長兼川副分館長、
江頭東与賀分館長兼久保田分館長、副島富士分館長兼三瀬分館長、
広報・団体貸出・自動車図書館担当 豊福、施設担当 樋口
(欠席：江頭館長、宮崎大和分館長、協議会担当 矢ヶ部)

【傍聴者：3名】

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 教育部長挨拶

(百崎教育部長)

みなさんこんにちは。教育部長の百崎と申します。

本日は大変お忙しいなか、そしてお暑いなか、本協議会にご出席いただきありがとうございます。

昨日の佐賀県の発表ですけれども、新型コロナウイルス感染症の陽性者となった方の数が過去最高となったとのことで、この第7波がどこまで続くのかと、大変危惧しているところです。

佐賀市立図書館も、来館者の皆様のご協力のもと感染対策をしながら運営をしております、第7波を無事乗り越えられることを祈っているところでございます。

この佐賀市立図書館は平成8年8月に開館いたしまして、今年で26年を迎えております。佐賀市の図書館は、合併を機に各旧町村に7つの分館と、旧佐賀市内に6つの分室を備えております。図書館全体として佐賀市の市民の皆様図書館サービスを提供しているわけですが、市民と共に育つ図書館ということをもっとして、市民の方が利用しやすく、便利で身近な図書館として運営できるように日々努力しておりますので、今後とも委員の皆様方のご支援をお願いしたいというふうに思っております。

さて、本日の協議会でございますけれども、昨年度の事業の振り返りと、今年度の重点事業の実施についてご説明させていただきたいと思っております。今年図書館では、重点事業として二つの新規事業に取り組んでおります。一つ目の本館の大規模改修につきましては、施設の老朽化に伴い改修を行うものでございます。本格的な改修につきましては来年度以降になりますけれども、将来的な図書館のあり方を考えながら、改修の内容を検討していきたいと考えております。

二つ目は電子図書館システムの試験導入でございます。読書バリアフリーの観点から、図書館に来館

することや紙の書籍を読むことが難しい人へのサービスとして、電子図書館システム導入の準備を進めています。サービスの提供につきましては、来年の6月を予定しており、先月システムの構築を委託する業者が決まったところでございます。

いずれの事業も、佐賀市立図書館のこれからのサービスの根幹となるものでございます。事業を進めるうえで、委員の皆様から有意義なご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします

それから、この場をお借りして紹介させて頂きたいイベントがございますので、少しお話をさせていただきます。「佐賀うちどくフェスティバル in 佐賀」というイベントがございます。『うちどく』とは、家庭読書の略でございますが、主催は、伊万里市民図書館に事務局を置く「佐賀うちどくネットワーク」という団体でございます。年に1回、県内各市を持ち回りでこのイベントを開催されておりまして、佐賀市での開催で9回目となるということでございます。

佐賀市の役割としましては、イベントで佐賀市内の読書活動について発表していただくための準備や、市民への広報などについて協力しております。開催の日時と場所は少し先になりますけれども、来年1月14日土曜日の13時30分から3時間程度、場所はお隣のアバンセのホールで開催することになっております。

イベントでは、実践発表としまして、佐賀市立富士中学校の取組と地域におけるボランティア団体の方に発表をお願いしたいというふうに考えております。また、ほかにも絵本作家の方をお招きして講演をしていただくような準備をしております。

前は小城市の方で開催されまして、白根会長にもご参加いただき、ご協力いただいたところでございます。また、このイベントが家庭での読書を推進するというものでございますので、先日佐賀市のPTA協議会の方でご協力をお願いしたいということでお伺いしてきたところでございます。

委員の皆様には、イベントの詳細等が決まりましたら、またご案内を差し上げたいと思っておりますので、ぜひご参加をお願いしたいと思っております。

少し長くなりましたが、委員の皆様には、本日の会議で活発なご意見をいただき、有意義な会となることを祈っております。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 新任委員挨拶

(宮原委員)

今年から川副中学校の校長として赴任しました宮原克典と申します。前年度まで唐津市の方で務めておりましたので、だいぶ近くなって助かっております。なおかつ、今年校長会の方の分担として図書館教育の方をしておりますので、まもなく生徒たちが夏休みに書き上げる読書感想文の審査会、そういったことにも携わっていかないとはいけません。本当に図書館の方でますます色々なものが開催されて、活発になれるようによろしくお願いいたします。

(青山委員)

佐賀市PTA協議会から参りました。赤松小学校でPTAをしております青山泰江と申します。よろしくお願いいたします。私自身はこちらの図書館に来るのが実は5年以上ぶりくらいで、図書館離れをしておりまして、こんな私でも図書館の良さなどを改めて知って、子どもの成長に伴って図書館を離れている親世代が多いと思っておりますので、そういう保護者の方に図書館の良さを改めて伝えていけたらなと思っております。どうぞ

よろしく願い致します。

5. 図書館職員紹介

6. 協議会

(1) 会長挨拶

(白根会長)

こんにちは。暑いなか、またお忙しいなか、参加していただきありがとうございます。実は今日私、図書館の1階のカフェでお昼ご飯をすませてこの会議に参加しようと思っていたら、カフェが閉まっておりました。人手が足りないということで、おそらくコロナ関連で濃厚接触者になってもお仕事できませんので、そういう関係で閉まっているのかなと思ひまして、コロナがなかなか落ち着かないことを大変残念に思ひます。

図書館のお仕事自体も、第7波のなかで色々工夫しながら困難のなかで活動なさっていると思ひますけれども、今日の会議のなかで、これからこの状況がいつまで続くかわかりませんが、みなさんから良いアイデアを出していただけましたら嬉しいなと思ひているところです。よろしく願い致します。

(2) 議事

①副会長の選出

(白根会長)

- ・前回までは思齊館中学部校長の野中委員が副会長だったが、辞任されたので、新任の副会長の選出をお願いしたい。自薦他薦問わず、ご意見はあるか。

※委員からの意見なし

(白根会長)

- ・事務局から提案はあるか。

(事務局)

- ・前回までも学校教育課推薦の委員をお願いしていたので、今回もできれば、学校教育課推薦の宮原委員をお願いできればと考えている。

(白根会長)

- ・事務局案でよろしいか。意義がないようなので、宮原委員は副会長席に移動をお願いします。

②前回協議会報告

【事務局からの説明】

(事務局)

前回協議会は令和4年3月23日に開催された。議題は、前回協議会報告、「佐賀市子どもの読書活動推進計画」の3年目中間報告、令和4年度佐賀市立図書館事業計画について、佐賀市立図書館大規模改修事業について、電子図書館システムの試験導入であった。

内容は議事録のとおりである。また、前回の協議会でいただいたご意見への対応状況については、協議会資料のp4からp5のとおりである。

p4の団体貸出やレファレンスの周知について、レファレンスについては、図書館ホームページへの案内掲載や図書館だよりの一面で調べものコーナーを紹介するなど、図書館に調べものができる場所があることをアピールしている。また、小学生向けのパスファインダーを作成し各小学校に配布するとともに、図書館内に

も設置しており、図書館を使って調べることへの理解が進めば、その手助けとなるレファレンスの利用も増えてくるのではないかと考えている。

団体貸出については、まだ認知度が低いと思われるため、図書館だよりに団体貸出の案内を掲載する予定である。また、個別対応として、リサイクル図書の選書に来館された団体へ団体貸出を案内するなどのPR強化の取り組みを予定している。

p5のおはなし会の開催状況については、コロナ感染者が減少しないなか、参加者にはマスクをしない乳幼児も含まれることやおはなし会会場の収容人員などを勘案し、各館ごとにボランティアと協議をしながら開催するかを決定している。8月については、本館は中止、本館以外の分館は、感染症対策をとりながら開催している。

【質疑・意見】

（白根会長）

- ・小学生の頃から図書館で色々調べものをするという習慣ができていると、大人になってからも何か問題を抱えたときに、図書館に行くという行動に繋がると思う。パスファインダーを配ったりすることは、とてもいい取り組みではないかなと思う。

③令和3年度の図書館事業報告について

【事務局からの説明】

（事務局）

- ・別添資料の「令和3年度佐賀市立図書館事業計画の実施報告」に沿って説明する。p1には、第3次佐賀市立図書館サービス計画の全体の成果指標について掲載している。一つ目の、「市立図書館のサービス（分館等含む）が充実していると思う市民の割合」については、教育委員会が毎年行っている市民を対象としたアンケートにより調査をしている。実績値として目標に達することができておらず、新型コロナウイルスの影響があるものと考えている。
- ・「市立図書館のサービスに満足している利用者の割合」については、図書館の利用者に対してアンケートを行って調査している。こちらも目標値に達することができていない。アンケートの内容をみると学習室や閲覧室の席数を減らしたことや、施設のトイレや駐車場に関する不満もあり、新型コロナウイルスの影響及び施設の不具合などが要因と思われる。
- ・令和3年度の重点事業については、後ほど個別に説明させていただく。
- ・p2からp5にかけては、第3次佐賀市立図書館サービス計画の4つの基本目標を掲げている。一つ目は「個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館」、二つ目は、「子供の成長に役立つ図書館」、三つ目に「多様な人々が集う図書館」、四つ目に「市民と共に変革を求める図書館」、以上4つの基本目標に基づいた図書館サービスを提供している。一つ一つの内容については省略させていただくが、2ページの中ほどに記載している「貸出サービスを利用した市民の数」の成果指標を見ると、図書館の利用登録率や貸出しサービスを利用した市民の数は新型コロナウイルスの蔓延前までにはまだまだ届かないものの、徐々に増加してきている。

- ・p.5 中ほどの成果指標の「各年度の事業計画の目標達成率」については、実績値が 44.2%と目標値を大きく下回っている。目標値を新型コロナウイルスが蔓延する前と同じ目標値として設定していることから、実際コロナの影響等によりイベントなどの事業を中止したり、延期したりしたことが、要因として大きくなっている。
- ・この 4 つの基本目標の個々のサービス・事業については p13 から掲載しているが、ボリュームが大きいため説明は省略させていただく。
- ・p.6 から記載している重点事業の報告については、各担当から説明する。

『外国語での図書館サービス案内作成と館内表示の多言語化』

(事務局)

- ・本事業は、市内在住の日本語を母国語としない方々に、図書館を快適に利用していただけるように、英語以外の外国語による図書館の利用案内の設置や館内表示を行うものである。
- ・市内在住外国人の母国語について調査したところ、ベトナム語、中国語、フィリピンのタガログ語の順に多いことが分かった。外国語の翻訳について、英語と中国語は佐賀市の国際課で翻訳が対応可能とのことだったが、ベトナム語とタガログ語は対応できないとのことだったため、令和 3 年度は英語と中国語について作業を進めることとした。委員のお手元に図書館の利用案内(水色)と令和 3 年度に作成した英語版(黄色)と中国語版(紫色)の利用案内をお配りしている。
- ・まず、この利用案内から作成し、それから必要な館内掲示物を作成するように、分けて作業を行っていたが、英語と中国語に翻訳された利用案内の内容のチェック等に時間を要したため、全体的に計画が遅れ、英語と中国語の掲示物の作成は、令和 4 年度に行うこととした。
- ・また、他の言語については、令和 4 年度にベトナム語、令和 5 年度にタガログ語の翻訳を業者に委託するための予算要求を行い、対応していくこととしている。

『未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方の検討』

(事務局)

- ・本事業は、図書館を普段利用しない市民に対して、来館のきっかけづくりとなる企画や情報発信について検討するものである。
- ・他の公共図書館の企画イベント等について調査したところ、特に筑後市立図書館では職業のプロに話を聴く「なるには講座」などユニークな企画イベントを多数開催されており、今後の企画イベント等の参考とするようにした。
- ・また、SNSの有効活用としては、図書館では公式Instagramを開設しているが、その掲載記事の内容や写真の撮り方などによる閲覧者の評価の数の違いを確認し、関心を引く内容にしている。
- ・チラシ・ポスターの設置については、市の施設において市役所、環境センター、児童センターなど設置可能な施設があったが、より多くの人の目に留まる有効的な設置場所を活用していきたいと考えている。

- ・共催や来館のきっかけづくりとなる企画・イベントについては、5月開催のアルモニア管弦楽団のコンサートを始め、新型コロナウイルス感染症のため、開催時期を延期したが、11月に開館記念講演会、1月に星空学習館によるワークショップを開催した。それらの参加者アンケートの結果により、初めて来館された参加者数やイベントの開催を知った方法などを確認することで、今後のイベント等の企画や広報に活かすようにして、令和4年度のイベントを計画している。

『子ども司書講座の実施』

(事務局)

- ・子ども司書講座については、佐賀市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもたちが司書の仕事を学び体験することによって、図書館への関心や読書への意欲を一層高め、講座で学んだことを活かし、小中学校で子ども司書として活躍できることを目的としている。
- ・令和2年度に小学生を対象とした「子ども司書体験講座」を試行的に開催し、令和3年度は、学校図書館司書へのアンケートを実施し、その結果を踏まえ内容等を検討し、小中学生を対象とした講座を1月から3月に4回開催する計画で募集も行ったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、やむを得ず中止とした。
- ・令和4年度も引き続き重点事業として取り組んでいく計画としている。

『子どもを対象としたパスファインダー（調べ方の案内）の作成と紹介』

(事務局)

- ・パスファインダーとは、特定のテーマに関する文献、情報の探し方・調べ方の案内をまとめたものである。
- ・第4次佐賀市教育振興基本計画の「目指すこども像」のひとつに「佐賀の歴史や文化等を学ぶことで『ふるさとを誇りに思い愛着をもつ心情』をもつ子ども」とあることから、子どもたちが佐賀の歴史や文化を学ぶために役立つパスファインダーを作成した。
- ・委員にお配りしているとおり、佐賀藩・七賢人・伝統芸能・有明海・佐賀の民話・恵比寿・郷土料理・バルーンなど12のテーマについて作成している。各学校等への周知については、令和4年度に引き続き重点事業として取り組んでいく計画としている。

『「新しい生活様式」にあわせた図書館のあり方の検討』

(事務局)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、佐賀市の災害対策本部の行動指針に基づいて行っている。市民の方に安全安心な図書館利用を行っていただくためにも、「新しい生活様式」にあわせ図書館の運営を行っている。
- ・昨年度取り組んだ内容としては、感染症対策として利用者の方に発熱や咳などの症状がある方は入館を控えていただいたり、各入り口に設置している消毒アルコールでの手指の消毒をお願いしたり、長時間の滞在は遠慮していただくとともに、館内はできるだけほかの利用者と離れて利用いただいたり、マスク着用など咳エチケットにも協力いただくなど、館内放送や掲示にてお願いをしている。
- ・また、各種イベントや貸館についても、その時々々の感染状況等を把握し、開催についての協議を行い、やむなく中止せざるをえなかったものもあったが、座席数を減らしたり、間隔をあけたりなどの「三密」防止対

策を取りながら開催した。

『本館施設整備計画の策定』

(事務局)

- ・佐賀市立図書館は、施設・設備の老朽化や不具合により、抜本的な対応が必要になっている。また、図書館の新たな用途についても検討する必要がある。以上より、本事業では、大規模改修を実施するにあたり、施設整備計画を策定することを目的としている。
- ・計画策定の進捗状況については、改修のコンセプトやレイアウト等の方向性が定まっておらず、そのための協議の時間をさらに要すると考えている。また、新たに I C タグの導入を検討しており、導入するかどうかの調査期間に 1 年程度を要する。これらのことから、当初は令和 3 年度中で策定を計画していたが、令和 5 年度以降の策定とするよう考えている。

『電算システム更新方針の策定』

(事務局)

- ・この事業は、図書館の業務システムやホームページ、蔵書検索のシステムなど、図書館で取り扱う全ての電算システムの更新に関する事業である。
- ・令和 3 年度に更新方針を策定し、それを佐賀市の CIO に諮った。審査の結果、更新は妥当と認められたが、市の厳しい財政状況から、一部を除いて 1 年延伸することになった。
- ・延伸しなかったのは、「電子図書館システムの試験導入事業」と「利用者用無線 LAN アクセスポイントの増設/更新」である。延伸したのは、その他の部分になるため、業務システムやホームページ、蔵書検索システム等に関する部分の更新を 1 年延伸することになった。
- ・これらの事業の令和 4 年度の実施状況については、次の議題である令和 4 年度の重点事業の経過報告の中で説明する。

【質疑・意見】

(白根会長)

- ・外国語の利用案内について、これからまた言語を増やしていくことは非常によいことだと思った。この利用案内について、図書館以外の場所にはどのようなところに置いているか。外国籍の方がよく集まれるようなところにも置くといいのではないか。

(事務局)

- ・現在、図書館以外の場所には設置していない。ご意見をいただいたとおり、外国の方が集まれるような場所に設置するようにしていきたい。

(委員)

- ・私の住まいの近くに、ウクライナの方が沢山来られている。「こんにちは」や「おはようございます」など簡単な挨拶をしたところ、きれいな日本語で返答された。私自身の経験から、何か生活のやり方が違うので色々知りたいだろうなと感じ、そういうお手伝いができたらなと考えている。
- ・図書館にも外国語の書籍を置いているコーナーで、英語で書かれた日本食の作り方に関する本を見つ

けた。野菜などの種類が国によって違うので、どう使ってよいかかわからないことがあると思う。私が外国にいた際、配給の方や現地の方に聞いたりしながらなんとか過ごした。具体的に話を聞いてみないとわからないが、ウクライナの方々も様々な細かいことに困るのではないかと思い、そういった情報の提供ができればよいのではないかと感じた。

(白根会長)

- ・慣れないところで暮らされていると思うので、図書館としても何か役に立てることがあればよいと思う。

(委員)

- ・本館施設整備計画について、施設のレイアウトの変更に関することが記載されており、飲食スペースの設置を考えるような文言がある。以前、この協議会のなかで来館者がお茶でも飲みながらゆったりとした気分で読書ができるような雰囲気はどうだろうかという提案をした。子どもがいたりなどすると、汚したりなどもあり、設置が難しいということで、それはそのとおりだと思った。
- ・レイアウトの変更の中で飲食のことも考えるのであれば、大人の人たちがゆったりとした気分で本を読めるような雰囲気もよいのではないかと思う。

③令和4年度重点事業の経過報告について

【事務局からの説明】

『利用者用無線 LAN アクセスポイント増設事業』

(事務局)

- ・令和3年度の重点事業の「電算システムの更新方針の策定」のなかで、1年延伸しなかったもののひとつである。
- ・具体的には、本館の公衆無線 LAN 用のネットワーク機器について、1階の中央カウンター付近に設置していた機器を更新するとともに、2階の多目的ホール、大集会室、学習室に新たに設置した。大集会室に設置した機器は、臨時学習コーナー付近まで電波が届くため、そちらでの利用も多くなっている。
- ・機器の設置は5月末から6月頭にかけての蔵書点検期間中に行い、予定どおり蔵書点検期間明けの6月3日からサービスを開始しており、現在のところ、特に障害や混乱もなく利用できている。

『郷土に関する資料等の情報を小中学校へ提供』

(事務局)

- ・令和3年度に作成したパスファインダーとその本のリストについて、各小中学校でも活用していただけるよう校長会において説明し、各小中学校にデータも含め配布した。
- ・また、図書館各館においても配置し、自由に手に取ってもらえるようにしている。本館では、現在「図書館を使った調べる学習コンクール」の入賞作品の展示を行っているが、合わせて調べる学習に役立ててもらおう、すぐ横にパスファインダーを配置している。

『小中学校図書館と連携した子ども司書講座の開催』

(事務局)

- ・昨年度の計画を引き継ぎ、小学5～6年生と中学1～2年生を対象とし、10月から12月にかけて

て全4回の子ども司書講座を計画している。

- ・内容は、まず基礎編として司書の仕事や十進分類法などについて学び、それを踏まえて図書館内の見学、続いて実習編として本の排架や本の修理体験、貸出カウンター体験、おすすめの本のポップ作りなど、実践編としておはなし会を予定している。
- ・また、今月25日に学校図書館司書の方の研修会において、意見交換を予定しており、講座の様子や受講生の作成したポップを小中学校でも紹介したりすることなどから、連携していこうにしたいと考えている。

『「新しい生活様式」にあわせた図書館のあり方の検討』

(事務局)

- ・昨今の佐賀県の新型コロナウイルスの感染状況をみると、多い時で2,000人を超え、昨日は過去最高の2,989人の感染者が出ており、今だ、全国的に見ても収束が見えない状況にある。図書館としても拡大防止の観点から、図書館としての在り方を検討していく中で、利用者の方には、安心して利用いただけるよう、引き続き館内に入る際には手指の消毒などをお願いしたり、館内ではできるだけ利用者と離れて利用いただいたりするなど、掲示や館内放送で呼びかけを行っている。また、イベントにおいても感染防止対策を取りながら実施するなど、その時の感染状況等に応じ対応をしている。
- ・いずれにしても、リスクを伴うことも多々あるため、その時々で、悩みに悩み、考え、協議を行い、取り組んでいるところである。
- ・また、電子図書館システムの試験導入や、大規模改修にあわせ窓のない部屋や換気が十分ではない部屋に対しての空調等の換気システムについても整備の検討を進めている。

『外国語での図書館サービス案内作成と館内表示の多言語化』

(事務局)

- ・本事業は、市内在住の日本語を母国語としない方々に、図書館を快適に利用していただけるように、外国語による図書館の利用案内の設置や館内表示を行うもので、令和3年度から続く事業となる。令和4年度には、簡単で分かりやすい「やさしい日本語」による表記についても館内の掲示物を作成する際に取り入れていこうに考えている。
- ・今年度において、まず館内掲示物の確認と更新計画を改めて作成する予定だったが、一般の利用者においても、場所などが分かりづらく、カウンター窓口への問い合わせも多いエレベーターや2階書架への案内、また、本の取り扱いや施設利用における注意喚起等の掲示物を、新たに作成して掲示することを優先したため、作業が遅れることとなった。そこで全体のスケジュールを一か月ほどずらして作業を進めることとしている。
- ・今後は、計画に基づき、ベトナム語の利用案内や令和3年度の計画の中で未作成であった掲示物について、事業を進めていく。

『電子図書館システム試験導入事業(R4年度:構築)』

(事務局)

- ・令和 3 年度の重点事業の「電算システムの更新方針の策定」のなかで、1 年延伸しなかったシステムのひとつである。
- ・令和 5 年 6 月からの試験運用に向けて、導入するシステム及び提供業者を選定するため公募型プロポーザルを行った。プロポーザルで最優秀提案者が株式会社図書館流通センターに決定したため、8 月末を目途に契約内容を調整し、契約を行うとともに、試験運用開始に向けてシステムの構築や商用電子書籍の選書、独自資料や利用者データの登録などを行っていく。なお、現時点でのスケジュールの遅延はない。

『読書が困難な人々に対するサービスに関する県内の状況調査』

(事務局)

- ・令和元年 6 月に施行された「読書バリアフリー法」を受け、読書が困難な人々に対するサービスのあり方を見直す必要があるため、まず、県内の公共図書館のサービスの状況を調査し、佐賀市立図書館としてのサービス内容の再検討を行う。
- ・今年 4 月にリニューアルオープンした、佐賀県の「県立視覚障害者情報・交流センターあいさが」を視察した。ここでは、視覚障害者のほかにも、視力が弱い方や発達障害など、読書が困難なひとのための読書スペースや、専門のスタッフがそれぞれに必要な福祉や医療の情報を提供する相談室等が設けられている。近隣の施設であることから、どのように役割分担するかを検討する必要があると考えている。

『図書館情報ネットワークシステム更新事業』

(事務局)

- ・この事業は、令和 3 年度の重点事業のなかで説明した「電算システム更新方針の策定」のなかで、1 年延伸することになったと説明した部分の継続事業である。業務システムやホームページ、蔵書検索システム等の更新に関する部分となる。元々は令和 5 年 1 月に更新を予定していたが、延伸したことにより、令和 6 年 1 月に更新を行う予定となった。
- ・半導体の高騰による機器の値上がりや、SE の人手不足や人件費の値上がりなどのリスクもあり、以前のシステム更新に比べて費用がかさむ可能性が高い一方で、市の財政状況も厳しく、以前ほど予算を確保できるか不透明な状態である。そのため、国の交付金が活用できそうな部分を模索しながら、予算要求に向けてシステムの要件定義を行っている。
- ・予算要求に向けての検討がやや遅れているが、8 月・9 月に集中して行う予定である。

『(本館大規模改修事業) 本館改修工事』

(事務局)

- ・本事業は、大規模改修事業の中でも緊急を要するものの改修工事を目的としている。改修工事の内容は、非常用発電機制御盤更新工事、誘導灯の LED 化、大集会室の音響設備更新工事となっている。
- ・本館非常用発電機の制御盤は開館より 26 年を経過し、部品の製造が終了している。そのため、故障した際は非常用発電機が使用できなくなり、消防法違反となるうえに、安全な施設の運用ができなくなる。以上より、同メーカーの最新型制御盤へ更新を計画している。現況については、7 月の入札実施

により業者が決定し、来年の 2 月頃に更新工事を計画しているが、半導体不足で納品時期が不確定であり、場合によっては工事が来年度に延期になる可能性がある。

- ・次に誘導灯の L E D 化については、誘導灯の耐用年数が過ぎているため、更新を実施する。現在、実施計画を策定しており、策定後 9 月頃に入札を実施し、12 月から 1 月ごろに L E D 化の工事を実施予定である。
- ・最後に大集会室の音響設備更新についてであるが、電波法関連法令の改正により、現在使用しているワイヤレスマイクが利用できなくなるため、更新を計画している。8 月 19 日に入札を予定しており、9 月に更新工事を計画している。

『（本館大規模改修事業）本館施設整備計画の策定』

（事務局）

- ・本事業は、大規模修繕工事のための施設整備計画策定を目的としており、令和 3 年度の事業の続きとなる。計画策定にあたって、まず、今年の 4 月に利用者アンケートを実施した。アンケートの結果については、本日委員に配布した資料のとおりとなっている。また、今年の 6 月から図書館内で大規模改修に関する検討委員会を月に 1 回の頻度で実施し、館内を見て回ったりアイデアを出しあったりしながら、どのような方向で改修に取り組むべきか検討をしている。さらに I C タグ導入についても実施するべきか検討しているところであり、そのための調査期間は 1 年程度を考えている。調査内容としては、費用対効果の検討や他の自治体図書館への視察実施などとなる。
- ・以上より、現在、佐賀市では本館大規模改修についてどのような方向で改修をしていくか検討をしている段階であり、令和 5 年度末を目途にこれらの結果を反映した施設整備計画を策定していこうと考えている。

（事務局）

- ・説明は以上となるが、特に本館の大規模改修に関して委員の皆様からご意見をいただければと考えている。

【質疑・意見】

（委員）

- ・以前、行政で建築設計を行っていた。その経験からいくと、その施設を使う人たちがどのようにしたいかということ、最初にまとめる必要があると思う。おそらく、佐賀市にも技術者の方がいると思うので、その方と相談して構想し、委託して設計業者が基本設計を行うことになる。そのなかで、構想と基本設計の整合を図る作業が必要になると思う。
- ・まずは、使う人たちがどのようにしたいかということが一番大切であり、そこさえきちんと押さえることができれば良い建物になるし、改修は新たに作るものと違って既存のものがあるので、そこをどういうふうにやり直していくか、そこが非常に大変な作業だと思います。

⑤その他

【質疑・意見】

(委員)

- ・8月16日の佐賀新聞に「司書ってどんなことをやるの」という記事が出ていた。白根会長が、司書の仕事はとても大事なのだということをお話してあり、これを読むことによってそのあたりがよく理解できた。新聞関係の方が委員にもいらっしゃるので、こういう施設がこういうことを考えている、新たな取組を始めたということがあれば、新聞に記事を掲載していただき PR するようなやり方もあるのではないかと思った。

(白根会長)

- ・佐賀新聞で図書館のことや司書のことを紹介していただいているということで、大変ありがたく思う。ぜひ図書館の応援をよろしくお願い致します。

(委員)

- ・大規模改修利用者アンケート集計という資料があり、色々な意見が記載してある。そこに記載されていることは、全て考慮されているという理解で良いか。

(百崎教育部長)

- ・利用者の方からアンケートいただいた意見について、対応ができるものについては検討していきたいと思っている。例えば授乳室やトイレに関する部分など、大規模改修のときにしかできないもので、対応できるものには対応していきたい。既存の施設の改修ということになるので、どこまでできるかという問題もあるが、アンケートの意見を参考にしながら進めていきたいと考えている。

(委員)

- ・2階書架へのアクセスについて階段でしか行けないということだが、エレベーターがあると思う。そこから書架の方には行けないのか、

(事務局)

- ・2階書架に直接行けるエレベーターが現在ない状況である。一番近いエレベーターは業務用のスペースにあり、現在も必要に応じて利用いただいているが、エレベーターで2階にあがったところで業務用の通路に出てしまい、2階書架に直接行くことができない。職員の中からも改善したいという声があがっている。

(委員)

- ・佐賀県ユニセフ協会の報道官をさせていただいている。先日、図書館の2階で行われた平和展で佐賀県ユニセフ協会も展示をさせていただいたが、わざわざ2階まで上がって展示に来てくれる方が少なかった。1階で展示ができると、通るついでに見てくれる人もいると思う。有料でもいいので1階や閲覧室内などに展示ができるスペースがあればいいなと感じた。何か1階に皆さんの作品など展示できるスペースが少しでもあれば嬉しい。

(白根会長)

- ・1階のスペースでそういった展示があると、2階の本展示にも興味を持つ人が出てくるかもしれない。

(事務局)

- ・大規模改修に向けて、貴重な御意見として把握したうえで検討していきたい。

(白根会長)

- ・他に意見や質問がなければ協議会を終了したい。

(事務局)

- ・次回の図書館協議会は、令和 5 年 3 月に予定している。詳細な日程が決まり次第、委員の皆様には連絡させていただく。ありがとうございました。